

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

精神科救急病棟に入院した思春期症例の特徴

1. 研究の対象および研究対象期間

2014年1月1日～2021年12月31日に昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター精神科救急病棟（西2階病棟）に入院された患者様さんの診療録を使用します。

2. 研究目的・方法

2014年1月1日から2021年12月31日に昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンターの精神科救急病棟に入院した全患者さんの診療録を基に、患者さんの背景、入院中の治療、入院時、退院時の薬物療法について記録したデータベースを作成し、緩下剤の使用率、緩下剤使用群と非使用群2群の比較、緩下剤の使用に関連する因子の特定を行います。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから、2022年6月25日まで。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録より年齢、性別、生活状況（単身生活か否か）、飲酒歴、喫煙歴、診断名、（精神科での）罹病期間、（精神科での）通院期間、入院回数、精神保健福祉法における入院時形態、精神保健福祉法における退院時形態、精神科救急病棟の在棟日数、隔離施行、拘束施行、入院時、退院時の重症度（CGI）、身体的合併症、初回投与、最終投与の向精神薬、抗パーキンソン薬の種類、初回投与、最終投与の向精神薬、抗パーキンソン薬の投与量、初回投与、最終投与の緩下剤の種類、量、データベースを作成します。個人名を特定できる情報は収集いたしません。

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター

氏名：山田 浩樹

住所：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話番号：045-949-7000

研究責任者：山田 浩樹